

## 令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	箕輪町			代表者名	白鳥 政徳
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	DX推進係	連絡先電話番号	0265-79-3111
担当者役職	副主幹	担当者氏名	中坪真之介	連絡先E-mail	
住所	399-4601 長野県箕輪町10298番地				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署		連絡先E-mail	
担当者氏名		連絡先電話番号			

#### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名	生成AI活用研修		
概要	次年度生成AIを導入することを検討しています。サニタイザーAIゲートウェイを導入予定ですが、箕輪町の職員間でも生成AIに対する知識・活用方法の理解に大きな差があります。サニタイザーAIゲートウェイの提供元である川口弘行氏に生成AIに関する研修会を実施いただきたいです。				
支援を求める分野	AI活用 生成AI活用				

### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	335	令和7年2月6日	支援・助言&講演	実地
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和7年1月8日	支援・助言&講演(実地)	13時30分	16時45分	15
				活動時間(分)	180
2-2. 派遣場所	会場名	箕輪町役場	最寄駅	伊那松島駅	
	所在地	長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪10298番地	最寄駅からの交通手段	職員による送迎	

### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	川口 弘行
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	生成の基本的な考え方など、ご自身の経験や他自治体の事例なども含めて解説いただきました。また、当町で次年度導入予定の「サニタイザーAIゲートウェイ」について、実際にデモンストレーション交えながら活用事例をご紹介いただき、職員の生成AIの活用方法に対する理解度の向上につながりました。
アドバイザーへの要望事項	今回の支援を継続的に利用させていただきたいです。

### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	165人		
	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)	
	人数	165	0	0	0

#### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的に記入下さい)	次年度生成AIを導入することを検討しています。サニタイザーAIゲートウェイを導入予定ですが、箕輪町の職員間でも生成AIに対する知識・活用方法の理解に大きな差があります。今後人口減少に伴う職員数の減が予測できる今般において、生成AIの活用は必須であると認識しています。これまでもロゴチャットで生成AIの機能を利用できる無料トライアルに参加する等してきましたが、利用する職員の数も少なく、また周知するにも専門的な知識を持っている職員がいないため、活用の推進ができないことが課題です。
支援により目指す成果(具体的に記入下さい)	支援により生成AIをすべての役場職員が活用できることにより、業務の効率化、サービスの迅速化を図ります。本来時間をかける必要がある分野(防災、介護、医療など)にリソースを割くことができるようになり、より個別に沿ったサービスを提供します。また、住民にとって利便性の高い役場を目指します。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	前半は生成AIの仕組み、正解のない問題はあくまで意見であると定義し生成AIの回答はあくまで意見であるという認識を持つことの重要性について解説いただきました。 後半はデモンストレーションを交えながら、行政の仕事で生成AIがどのように活用できるのかについて解説いただきました。テキストベースで議会の議事録をセットアップすることで議会答弁を作成することができたり、Word、Excelなどのデータを読み込ませると、内容の要約文を作成するなど、実際の生成AIの動きをご紹介いただきました。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	箕輪町でも無料版であったり、ロゴチャットの無料トライアルなどでどのように業務に活用できるか検討をしてきましたが、いい活用方法がわからず苦慮していました。川口様の解説の中で、多くの自治体がプロンプトエンジニアリングによるテキストの生成【挨拶文の作成等】で止まっているが、次のステップとして、Word、Excel、画像、動画を読みこませて処理をすることが出来れば活用の幅が広がる事例をご紹介いただき、生成AIを行政で活用するためのイメージができました。このステップは【サニタイザーゲートウェイ】を導入すれば実現していることであり、当町の副町長、企画層も参加していたため、予算確保にご理解いただけたと思います。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	まだシステムを導入していないため、アンケートの中にも実際に使ってみないとわからないといった回答がいくつかありました。導入後は実際にシステムを有効活用するための研修会の実施などを検討していきます。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
4-4. 事業の最終的な目指す姿	支援により生成AIをすべての役場職員が活用できることにより、業務の効率化、サービスの迅速化を図ります。本来時間をかける必要がある分野(防災、介護、医療など)にリソースを割くことができるようになり、より個別に沿ったサービスを提供します。また、住民にとって利便性の高い役場を目指します。	

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可
  掲載可

[https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past\\_year\\_all\\_houkoku/](https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/)

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

